

資料館だより

2024.1.1 No.121 (季刊)

編集・発行 国立ハンセン病資料館

国立ハンセン病資料館 開館30周年記念講演会のご案内



1982年より東京都の小学校(病児養護学校)教員となる。1993年より国立ハンセン病療養所多磨全生園に最も近い東村山市立青葉小学校で、多磨全生園の人々との交流とハンセン病に関する学習指導に取り組む。2005年より2年間、国立上越教育大学大学院に長期派遣研修。『近現代日本ハンセン病史における「子ども」と「教師」～負の経験をこれからの人権教育に生かすために～』を修士論文としてまとめる。2014年『ハンセン病と教育～負の歴史を人権教育にどういかすか～』、2023年『13歳から考えるハンセン病問題』出版。

当館は開館30年を迎えました。1993年に高松宮記念ハンセン病資料館として開館し、2007年に国立ハンセン病資料館としてリニューアルオープンした後も、資料館を創り上げてきた当事者の思いを継承し、ハンセン病問題に関する理解を深め、人権を学ぶ場として多くの皆さまに支えられてきました。

この記念すべき節目に、資料館のこれまでを振り返りながら、いまハンセン病問題を伝えることについて、講師に都立武蔵台学園 府中分教室教諭佐久間建氏をお招きし、記念講演会を開催いたします。

講演：「資料館を創った人々の思いを受けての人権学習(仮)」

講師：佐久間建氏

日時：2024年3月30日(土) 13:30~15:20

会場：当館映像ホール

詳細は当館ホームページをご覧ください。▶▶▶



図書のご紹介

今回ご紹介するのは、江連恭弘・佐久間建監修『13歳から考えるハンセン病問題』(かもがわ出版、2023年)です。ハンセン病問題を通史的に解説した子ども向けの書籍がついに上梓されました。平易な文章ながら、写真やデータそして当事者の証言が豊富に紹介されており、子どもだけでなく、ハンセン病問題を一から学びたいという大人にもおすすめの一冊です。



古くは『日本書紀』にも表れるハンセン病への差別は、近代日本でどのように激化し、温存されてしまったのか。そして当事者たちがそれらとどう闘ってきたのか、ひいては将来構想に関する取り組みまで、ハンセン病問題の歴史と今後の課題について、わかりやすく解説されています。さらに新型コロナ感染症差別の問題とも照らし合わせることで、これから生きる子どもたちがこれらの問題を「じぶんごと化」し、差別をどう乗り越えていけばよいかを問いかける内容となっています。(長谷川秋菜)

管理運営団体からのお知らせ



2024年2月17日(土) 厚生労働省主催「第24回ハンセン病問題に関するシンポジウム」を東村山市立中央公民館でハイブリッド開催いたします。

詳細・申込はQRコードからお願いいたします。
シンポジウム事務局
TEL: 042-396-2909



国立ハンセン病資料館 利用案内

■開館時間 9:30~16:30

■入館 無料

■休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始、国民の祝日の翌日、館内整理日

■交通 ・西武池袋線 清瀬駅南口より 西武バス「久米川駅北口」行バスで約10分(「ハンセン病資料館」下車)
・西武新宿線 久米川駅北口より 西武バス「清瀬駅南口」行バスで約20分(「ハンセン病資料館」下車)
・JR武蔵野線 新秋津駅より 徒歩約20分

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13 TEL 042-396-2909 FAX 042-396-2981 URL <https://www.nhdm.jp/>

出張講座案内 団体見学案内



出張講座について

当館では、多くの方にハンセン病問題を理解し考えてもらう機会を提供することを目的とした「出張講座」を実施しています。「出張講座」では日本全国どこへでも無料で当館学芸員を派遣し、ご要望の講演時間や内容に応じてハンセン病問題をテーマにした講演を行います。

これまで、小・中・高校での人権学習、自治体職員の方や企業の方向けの人権研修や生涯学習、大学での講義などのほか、ご見学前の学習として、6万人以上の方にご利用・ご参加いただいております。

2023年10月14日には東京都練馬区立大泉中学校からお招きいただき、道徳授業地区公開講座としてご利用いただきました。

当日の感想の一部をご紹介します。



東京都練馬区立大泉中学校

感想の一例

「今回の講演を聞いて、国が病気を理由に多くの人への人権侵害をしてしまったことを知ることができました。今後同じ過ちを繰り返さないためにも、中学生の自分にできることを見つけ、どんどん行動できるようにしていきたいと思うことができました。」

「ハンセン病という単語は聞いたことがあったが、現代でも差別が残っていて、問題が解決できていないことに驚いた。問題を解決するために、一人ひとりが人権の大切さを理解しなくてはいけないと思う。」

最近はいじめ問題やSDGsとの関りでの依頼も増えています。当館へ足を運ぶことが難しい方でも利用できることから、多くの方から好評をいただいております。

「出張講座」は、10名以上の団体であればどなたでも無料でご利用が可能です。また、対面だけでなくオンライン、録画、オンデマンド放送での実施も可能です。

お申込みは当館HPから受け付けております。

多くの方からのご依頼をお待ちしております。(牛嶋渉)

国立ハンセン病資料館 出張講座 🔍 検索

「国立ハンセン病資料館 出張講座」で検索!

今からおよそ100年前、1923年10月31日から同年11月3日まで、第一区府県立全生病院(現・多磨全生園)の礼拝堂にて「第壹回絵画会」が開催され、同病院の設立以降初めて、入所者による絵画が展示されました。この催しについて、出品作品及びその描き手は一切不明ですが、入所者の山本 哨 氏は、「かの絵画会は全患者の向上をあらはしたと共に将来の何物かの暗示であらねばならぬ 何れにしても喜ばしき事であった」と報告しています。

企画展「絵ごころでつながるー多磨全生園絵画の100年」は、この「第壹回絵画会」にはじまる多磨全生園における絵画活動の100年をたどり、隔離政策下のなか、やがて園の内外へと展開した文化運動として、絵画を展示します。

見どころは、全国の療養所における最初の絵画サークルとなる多磨全生園の描き手が集まった「絵の会」です。1943年に結成された同会は、敗戦を経て、日本国憲法と治療薬プロミンが登場した戦後、1953年の「らい予防法闘争」、病気の治癒と高度経済成長を背景とした入所者の社会復帰が急増した1960年代という療養所の転換期の中でその活動を繰り広げます。

なかでも1955年に始まる東京都美術館で開催さ

れた美術団体展への入選は、絵画サークルの作品が園外の美術館で展示された最も早い機会となり、絵画の可能性が描き手と社会とをつなぐきっかけとなりました。最多で9名が入選したこの活動について、絵の会会員の村瀬哲朗はそれを「言葉の上では表現することの出来ないよこびであった」と振り返ります。本展ではこの団体展に入選した作品の一部を当館として初めて展示します。

1970年代以降は絵画活動が集団から個々のそれへと変化し、関連して本展では、国吉信、望月章、鈴



国吉信『桜』(キャンパスに油彩、制作年不詳)
国立ハンセン病資料館蔵

村洋子の活動を初公開の資料多数と共に紹介し、それぞれが絵筆に込めた思いに迫ります。

関連イベントは、講師をお招きする講演会、描き手の言葉を読む朗読会、春と夏の子ども向けのワークショップ及び、関連のギャラリー展などを開催します。これらを通じて終息しつつある多磨全生園の絵画を描き継ぐ、語り継ぐことに対する理解が芽生えることを願っています。

詳細は1月中旬より当館HPとSNSなどで順次発表いたしますが、3月23日(土)に開催する担当学芸員の吉國元によるミュージアムトーク(当館映像ホール/オンライン)は現在当館HPにて申込受付中

です。皆さまのご来場・ご参加を心よりお待ちしております。
(吉國元)



鈴村洋子が絵を描いたTシャツ
(布にサインペン等、制作年不詳)
国立ハンセン病資料館蔵

2023年度「ハンセン病と人権」セミナー

2024年1月27日(土)、14時から15時30分まで、2023年度「ハンセン病と人権」セミナーを開催いたします(当館映像ホール/オンライン)。

「ハンセン病と人権」セミナーはこれまで、学校教育の関係者を主たる対象に、ハンセン病問題の普及啓発を広く行うことを目的として開催してきました。

今回はハンセン病問題をテーマとする実践経験が豊富であり、かつ双方向型の授業実践を長年にわたり行っている法政大学第二中・高等学校教諭の江連恭弘氏から、これまでの実践内容とともに教育の場でハンセン病問題を取りあげる意義について具体例をもとにお話いただきます。

また、江連氏の元生徒の皆様にもご登壇いただき、今、改めて授業を振り返った時の思い、学びについて座談会形式でお話いただく予定です。会場は当日先着順(120名)、オンラインは事前申し込み制で、参加費は無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(金貴粉)

【オンライン申込先】



展示解説のご案内

学芸員による常設展示の解説を下記の日程で実施します。

【1月】14日(日)、21日(日)

【2月】3日(土)、24日(土)

【3月】24日(日)、30日(土)、31日(日)



展示解説の様子

- 各日とも午前の部(11時から12時まで)と午後の部(14時から15時まで)の2回実施します。
- 定員は20名です(当日先着順)。
- 開始時刻30分前から受付で整理券を配布します。整理券をお持ちでない方はご参加できません。

3月は当館となりの桜の見ごろにあわせて実施します。展示室から見える桜も格別ですのでぜひご参加ください。

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3						1	2
	休	休	休										展							
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
		休						休						休	休	休	休	休	休	休
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
展	休			休			休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23
展	休					セ	休	休	休	休	休	展	休	休	休	休	休	休	休	
28	29	30	31				25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30
	休						休	休						展	休					展
														31						
														展						

休：休館日 休：図書室休室日 セ：セミナー 展：展示解説 講：講演会
 企画展開催 ☆：企画展ミュージアムトーク